

若者の投票率UP!プロジェクト

若者の投票率up!プロジェクトは、若い世代の投票率を上げるための活動を行っています。1人1人が問題と向き合い、どうすれば興味をもってもらえるか、どんなアプローチが効果的なのかを考え、一緒に話し合っています。メンバーと話す中で、自分の意見を聞いてもらったり、他人の意見を聞くことで視野が広がられたり、新しい発見をすることができます。

TEAM DATA

メンバー数：6名
活動場所：伊勢市
実施主体：伊勢市選挙管理委員会
担当教員：富永 健（現代日本社会学部）
活動年度：R02, R03



月別活動

（6月）広報いせ特集記事制作プロジェクトとの合同会議



（7月）模擬選挙

（8月）オンラインでのメンバー全員参加会

（10月）啓発チラシを高校に配る

1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

本年度は、選挙が複数あり、コロナウイルスへの不安がありながらも様々な活動を行いました。6月からは『広報いせ』特集記事制作プロジェクトの方々と一緒に、三重県知事選挙と伊勢市長および伊勢市議会議員選挙に向けて、広報いせに掲載する記事を作成しました。どうすれば見やすい記事になるのか、どんな内容なら興味をもってもらえるか、時間をかけて話し合いました。また、伊勢市選挙管理委員会にご協力していただき、模擬選挙を行って、その様子を取材していただきました。選挙は行っていましたが、模擬選挙で投票をしてみることで、改めて一票の大切さ、選挙の重要性を感じることができました。また、投票箱と記載台の体験もさせていただきました。知らなかったことばかりで、貴重な経験になりました。広報いせでは、なぜ若者世代の投票率が下がるとよくないかを解説した記事や、クイズ形式で選挙についての知識をつけられる記事を掲載していただきました。模擬選挙のときに撮った写真は、選挙の流れを説明するコーナーで使用していただきました。他にも、広報いせと同時に進行で選挙啓発チラシを作成しました。そのチラシは皇學館高校や伊勢学園高校などの高校を実際に周って代表の高校生に手渡し、またその場面を取材していただきました。代表の方に渡した啓発チラシは在校生の方に配っていただきました。手渡しし取材いただいた際は、高校生の方への大学でのプロジェクトの紹介や意見交換なども行うことができ、とても有意義な時間を過ごしました。取材には新聞やテレビの記者の方もいらっしゃったため今までより広く周知できたと思います。今後の課題としては、もっとメンバー間の連携をとっていききたいと考えています。それぞれの授業数や予定によって、参加できる回数が違うので、参加できたメンバーがどんな話し合いだったか、どんなことをしたのかをもっと伝え合っていこうと思います。

活動を通して学んだこと

この「若者の投票率up!プロジェクト」は、市役所で実際に働いていらっしゃる選挙管理委員会や広報の方々、他のCLLのグループの方など様々な方と関わって活動してきました。また自分たちが投票の権利を持つ若者という当事者としての意識を持ちながら、多くの方の支えをいただき選挙や投票率と向き合ってきました。この活動を通して、実際の選挙はどういうものなのかといった知識面だけでなく、様々な人との関わりや効果的な案を出すことの難しさ、ひとつの提案を出すための準備など実践的な面も学ぶことができました。また今年度は広報伊勢など啓発についての活動が多く、それぞれの媒体の特性なども含めた工夫が必要でした。啓発チラシに載せる文面ならひと目見ただけで分かりやすく気を引く簡潔さ、新聞なら記者の方の質問に見合うはっきりとした受け答え、広報伊勢なら分かりやすく興味を引くような企画の立案など実際に経験し学ぶ場面がとても多かったです。そのため会議を行う回数も多く、初歩的なことではありますが他の人の意見を聞きながら自分の提案も出していくコミュニケーションの難しさも改めて感じました。

実施主体からのコメント

伊勢市選挙管理委員会
ご担当者様

今年度も厳しいコロナ禍の状況の中にありながらも、学生の皆さんには多くの活動に取り組んで頂きました。

三重県知事や伊勢市長・市議会議員選挙、そして衆議院議員総選挙と複数の選挙がある中で様々な活動を行って頂きました。「広報いせ」における特集ページの作成、啓発ポスターへの出演、選挙啓発のメッセージの音源提供、啓発チラシの作成、さらには各高校への啓発チラシの配布と、より地元へ焦点を当てた活動を行ってくれました。伊勢市の若者の投票率が飛躍したことは、学生の皆さんの成果の賜物だと思います。

プロジェクトに参加していただいた中の2名の学生さんには、三重県知事選挙の際に選挙管理委員会の会計年度任用職員として選挙業務の一翼を担って頂きました。実際の現場に立つことで、有権者の方々の思いを肌で感じる事が出来たのではないかと思います。

学生の皆さんにとっては、選挙という素材を通じて政治を見つめ改めて考える体験であったかと思いますが、この活動で感じた思いやそれらを形にする経験は、今後の人生の中でもきっと役立つものであると思います。しなやかな感性を持ち続けながら、まちをよりよくする原動力であり続けて下さい。

担当教員より

現代日本社会学部 富永 健

令和3年は、9月に県知事選挙、10月に衆議院議員総選挙並びに伊勢市議会議員選挙が施行されました。これに合わせ、本CLL活動も、伊勢市選挙管理委員会に協力して、選挙啓発活動を行いました。その内容は、別掲の資料(伊勢市広報ほか)のとおりですが、特に、若者に向けて投票を呼び掛けることに大いに貢献できたと思います。

成果物 / 制作物



選挙啓発チラシ